令和７年度　三田市「市内経済雇用動向調査」調査票

調査へのご協力のお願い

この調査は、三田市内の事業所の景況や雇用の状況等について把握し、今後の産業振興施策や市内事業者への支援を進めるため、三田市と三田市商工会が合同で実施するものです。

事業所の皆さまにおかれましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査にご協力賜りますようお願い申しあげます。

なお、調査票の内容につきましては、調査目的外の使用や個別事業所の情報が流出したりすることのないよう、管理には万全を期してまいりますので、ありのままを記入して頂きますようお願い申しあげます。

令和７年 12 月８日

三　田　市　市　長　田村 克也
三田市商工会　会　長　福西 文彦

【記入上の注意】

1　すべての質問事項は、三田市内にある各事業所について記入してください。
2　この調査の「前期」「今期」「来期」の区分は次のとおりです。
　・「前期」：令和７年７月～9 月
　・「今期」：令和７年 10 月～12 月 **※「今期」の状況は、12 月１日（月）現在の判断で記入してください。**
　・「来期」：令和８年１月～3 月
3　すべての質問にご回答いただかなくても結構です。可能な範囲でご回答ください。
4　ご回答は、調査票にご記入いただき同封の返信用封筒で提出いただくか、下記フォームから回答をご入力ください。
　・パソコンをお使いの方　→　https://logoform.jp/form/hyogo-sanda/1327044

・スマホ、タブレットをお使いの方　→

【問い合わせ・返送先】
三田市産業振興部産業政策課　〒669-1595 三田市三輪２丁目１番１号
電話：079-559-5085　FAX：079-559-5024　Mail：sangyo@city.sanda.lg.jp

調査票のご返送・ご入力は、令和８年１月９日(金)までにお願いします。

はじめに貴事業者について、おたずねします。

所 在 地	三田市　　（町名まで）	経営者の年齢	歳代

事業所区分（該当する番号に○をつけてください。）	支店数（本社の事業所のみ回答してください。）
1.単独事業所　2.本社・本店　3.支社・支店	1.三田市内（　　カ所）　3.県外（　　カ所） 2.県内市外（　　カ所）　4.海外（　　カ所）

主たる業種を１つ選び、番号に○をつけてください。※主な取扱品目を、具体的に記入してください。

1.　建設業（具体的に　　）	7.　金融業・保険業
2.　製造業（具体的に　　）	8.　宿泊業・飲食サービス業
3.　卸売業（具体的に　　）	9.　生活関連サービス業・娯楽業
4.　小売業（具体的に　　）	10.　教育・学習支援業
5.　情報通信業	11.　医療・福祉業
6.　運輸・郵便業	12.　その他（具体的に　　）

事業所の従業員数について、該当する番号を１つ選び、○をつけてください。

1.　5 人以下	5.　51 人～100 人
2.　6 人～10 人	6.　101 人～300 人
3.　11 人～20 人	7.　300 人超
4.　21 人～50 人	

事業所の資本金について、該当する番号を１つ選び、○をつけてください。

1.　無し（個人事業主）	5.　3 千万円超～5 千万円以下
2.　500 万円以下	6.　5 千万円超～1 億円以下
3.　500 万円超～1 千万円以下	7.　1 億円超～3 億円以下
4.　1 千万円超～3 千万円以下	8.　3 億円超

事業所の業歴について、該当する番号を１つ選び、○をつけてください。

1.　5 年以下	5.　31 年～40 年以下
2.　6 年～10 年以下	6.　41 年～50 年以下
3.　11 年～20 年以下	7.　50 年超
4.　21 年～30 年以下	

事業所の売上高（直近会計年度）について、該当する番号を１つ選び、○をつけてください。

1.　500 万円未満	6.　1 億円～5 億円未満
2.　500 万円～1 千万円未満	7.　5 億円～10 億円未満
3.　1 千万円～3 千万円未満	8.　10 億円～50 億円未満
4.　3 千万円～5 千万円未満	9.　50 億円～100 億円未満
5.　5 千万円～1 億円未満	10.　100 億円以上

事業所名	（差し支え無ければ、事業所名とご連絡先をご記入ください）	
連 絡 先	TEL：	MAIL：

貴事業所の業況について、おたずねします。

質問１　前期(令和７年７月～9月)の業況について、一年前同期(令和６年７月～9月)の実績に比べどのように評価されていますか。（○は１つ）

1.良い	2.変わらない	3.悪い

▶業況が「良い」または「悪い」と回答いただいた事業所様のみお答えください。前期の業況を上記のように評価された主な要因は何ですか。（複数回答可）

1.売上が増加（減少）した	4.業界の市場規模が拡大（縮小）した
2.利益が増加（減少）した	5.業界の競争が激化（緩和）した
3.受注が増加（減少）した	6.その他（　　）

質問２　今期(令和７年10月～12月)の業況について、一年前同期(令和６年10月～12月)の実績に比べどのように評価されていますか。（○は１つ）

※12月１日現在の判断でお答えください。

1.良い	2.変わらない	3.悪い

▶業況が「良い」または「悪い」と回答いただいた事業所様のみお答えください。今期の業況を上記のように評価された主な要因は何ですか。（複数回答可）

1.売上が増加（減少）した	4.業界の市場規模が拡大（縮小）した
2.利益が増加（減少）した	5.業界の競争が激化（緩和）した
3.受注が増加（減少）した	6.その他（　　）

質問３　来期(令和８年１月～3月)の業況の見通しについて、一年前同期(令和７年１月～3月)の実績に比べどのように予想されていますか。（○は１つ）

1.良い	2.変わらない	3.悪い

▶業況が「良い」または「悪い」と回答いただいた事業所様のみお答えください。来期の業況を上記のように評価された主な要因は何ですか。（複数回答可）

1.売上が増加（減少）見込み	4.業界の市場規模が拡大（縮小）見込み
2.利益が増加（減少）見込み	5.業界の競争が激化（緩和）見込み
3.受注が増加（減少）見込み	6.その他（　　）

貴事業所の売上高の実績について、おたずねします。

質問４　今期(令和７年 10 月～令和７年 12 月)の売上高について、一年前同期(令和６年 10 月～令和６年 12 月)と比べて増減がありましたか。(○は１つ)

1.増加した	2.変わらない	3.減少した

▶売上高が「減少した」と回答いただいた事業所様のみお答えください。どのような要因によるものですか。該当するものに○をご記入ください。(複数回答可)

1.米国関税措置などの影響による受注・利用者の減少	2.エネルギー価格・物価高騰による消費意欲の低下に伴う受注・利用者の減少
3. エネルギー価格・物価高騰による自社の生産拠点・仕入れなど調達先の変更による生産量の減少	4.国際情勢やサプライチェーンへの打撃による製品等の納期遅れ、又は入手困難
5.人手不足による企業活動の停滞	6. 得意先、固定客の減少
7.商品等の競争力低下	8.その他（具体的：　　）

貴事業所の仕入高の実績と見通しについて、おたずねします。

質問５　「仕入高」について、前期(令和７年７月～９月)の実績の評価、今期(令和７年 10 月～12 月)及び来期(令和８年１月～３月)の見通しをそれぞれお答えください。(○は１つ)

※今期の状況は、12 月１日現在の判断でお答えください。

前期の実績	1.上昇	2.変わらない	3.低下
今　　期	1.上昇	2.変わらない	3.低下
来期の見通し	1.上昇	2.変わらない	3.低下

質問６　エネルギー価格・物価高騰（原材料費高騰）によるコスト等の上昇を価格に転嫁できていますか。該当するものに○をご記入ください。

1.転嫁できている		
2.転嫁できていない	→主な理由は（一つ選択）	(1) 顧客が競合に流れるため (2) 顧客との関係悪化を懸念しているため (3) 値上げによる影響がわからないため (4) その他（具体的：　　）

質問７　主な仕入れ先はどこに在りますか。(○は１つ)

1.市内	2.市外	3.海外

貴事業所の採算の実績と見通しについて、おたずねします。

質問８　「採算」について、前期(令和７年７月～９月)の実績の評価、今期(令和７年 10 月～12 月)及び来期(令和８年１月～３月)の見通しをそれぞれお答えください。(○は１つ)

※今期の状況は、12 月１日現在の判断でお答えください。

前期の実績	1.黒字	2.収支均衡	3.赤字

今　　期	1.黒字	2.収支均衡	3.赤字
来期の見通し	1.黒字	2.収支均衡	3.赤字

貴事業所の生産・営業用設備について、おたずねします。

質問 9　今期(令和 7 年 10 月～12 月)の生産・営業用設備の状況について、一年前同期(令和 6 年 10 月～12 月)に比べどのように評価されていますか。(○は 1 つ)
※12 月 1 日現在の判断でお答えください。

1.過剰	2.適正	3.不足

質問 10　今後の設備投資の予定について、該当する番号を 1 つ選び、○をつけてください。

1.増設する	2.現状維持	3.縮小する

貴事業所の資金繰りと金融機関の対応(貸出条件等)について、おたずねします。

質問 11　今期(令和 7 年 10 月～12 月)の資金繰りについて、一年前同期(令和 6 年 10 月～12 月)に比べどのように評価されていますか。(○は 1 つ)
※12 月 1 日現在の判断でお答えください。

1.楽である	2.変わらない	3.苦しい

質問 12　令和 7 年 4 月以降に事業用資金の借入申込をされましたか。

1.借入申込をした	2.借入申込をしていない

▶(「1.借入申込をした」とお答えの方)資金使途は何ですか。(複数回答可)

1.通常の運転資金	6.人材採用・育成に係わる資金
2.売上(受注)増に伴う増加運転資金	7.研究開発資金
3.新規設備投資に係わる資金	8.宣伝・ＰＲに係わる資金
4.既存設備の改修・定期更新に係わる資金	9.その他(　　)
5.新規事業に係わる資金	

▶▶(「1.借入申込をした」とお答えの方)金融機関の姿勢(借入条件等)は、いかがでしたか。(○は 1 つ)　※12 月 1 日現在の判断でお答えください。

1.緩い	2.普通	3.厳しい

▶▶▶(「3.厳しい」とお答えの方)どのような点で厳しいと感じていますか。(複数回答可)

1.申込金額の借入が困難(減額を含む)	6.金利の引き上げの要求
2.条件の厳格化(担保の追加、審査内容、保証条件等)	7.他の金融機関、公的機関の利用を勧められた
3.新規借入の際の既存貸付の繰上げ返済の要求	8.貸付条件は変わらないがｻｰﾋﾞｽは低下した

4.信用保証協会の保証付加の要求	9.その他(　　)
5.返済期間の延長の申し出の拒否	

質問 13　貴事業所のメインバンクをお答えください。(○は１つ)

1.都市銀行	2.地方銀行	3.信用金庫	4.信用組合	5.政府系

▶上記金融機関から借入された理由をお答えください。(複数回答可)

1.金利が低い	4.融資以外のサポートメニューが豊富
2.長年の付き合い	5.支店進出先にも金融機関の支店がある
3.行員の対応が親身、丁寧	6.その他(　　)

質問 14　ゼロゼロ融資（令和２年度から新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業・個人事業主向けに「実質無利子」「無担保」で実施された公的融資制度）の返済が本格化しています。

貴事業所ではこのゼロゼロ融資制度を利用されましたか。

1.利用した	2.利用していない

▶（「１.利用した」）と答えた方）返済は完了しましたか。

１．完了した	２．まだ返済中

▶▶（「２.まだ返済中」）と答えた方）返済の状況はどのような状況ですか。

1.２分の１以上残っている	2.約３分の１残っている	3.間もなく完済する
4.返済に不安がある		

貴事業所の従業員数について、おたずねします。

質問 15　今期(令和 7 年 10 月～12 月)の従業員数について、一年前同期(令和 6 年 10 月～12 月)に比べどのように評価されていますか。(○は１つ)

※12 月 1 日現在の判断でお答えください。

1.過剰	2.適正	3.不足

▶(「１．過剰」とお答えの方)どのような雇用形態・職種が過剰ですか。(複数回答可)

〈雇用形態〉

1.正規従業員	2.パート・アルバイト	3.派遣労働者

〈職　　種〉

1.事務職	2.営業・販売職	3.専門技術職	4.生産・労務職
5.その他(　　)			

▶▶(「3.不足」とお答えの方)どのような雇用形態・職種が不足していますか。(複数回答可)

〈雇用形態〉

1.正規従業員　　2.. パート・アルバイト　　3.派遣労働者

〈職　　種〉

1.事務職	2.営業・販売職	3.専門技術職	4.生産・労務職
5.その他(　　)			

▶▶▶(「3.不足」とお答えの方)どのような支援を希望されますか。(複数回答可)

1.人材育成・職業訓練に対する支援	6.高齢者が働きやすい環境整備への支援
2.採用活動への支援	7.OB 人材（大企業等）の活用への支援
3.業務効率化・省力化への支援	8.行政による事業所の PR 等の支援
4.外国人雇用への支援	9.その他
5.女性が働きやすい環境整備への支援	(　　)

▶▶▶▶(「2.採用活動への支援」とお答えの方)具体的に興味のある内容をお答えください。(複数回答可)

1.企業説明会(合同面接会)の開催	4.学生・学校とのマッチングの実施
2.求人掲載料の助成	5.学生の職業体験受入れ
3.ホームページの採用ページ作成	6.その他(　　)

貴事業所のＢＣＰ（事業継続計画）の策定状況について、おたずねします。

質問 16　貴事業所では、BCP（事業継続計画）を策定されていますか。

BCP とは、企業が自然災害、大火災、感染症流行、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産等の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

1.策定している	3.策定を検討中である
2.現在策定中である	4.策定していない

▶(「4.策定していない」とお答えの方)　策定していない理由について、教えてください。

1.BCP（事業継続計画）を知らない	3.必要性を感じない
2.計画策定の方法がわからない	4.計画策定が手間である。時間がない

事業承継について、おたずねします。

質問 17　貴事業所において後継者難、事業承継に関する課題はありますか。

１．ある	２．ない

▶（「１.ある」）と答えた方）現在の事業を承継したいと思いますか。

１．承継したい	２．承継したくない	３.わからない

▶▶（「１.承継したい」と答えた方）承継する場合、後継者等はいますか。

１．後継者あり（家族）	２．後継者あり（家族以外）	３.後継者はいない

▶▶▶（「１.承継したい」と答えた方）承継するためにあったらいいと思う支援はどんなものですか。

１．セミナーや研修会の開催	２．方法などのアドバイスをしてくれる相談窓口の設置	３.事業承継にかかる助成金や支援金
４．その他（具体的な支援策があれば：　　）		

▶▶▶▶（「２.承継したくない」と答えた方）その理由は何ですか。

１．事業を廃業する予定のため	２．その他（　　）

最低賃金の引き上げについて、おたずねします。

質問 18　10 月４日から最低賃金が 1,116 円に引き上げられました。ご存知でしたか。

１．知っていた	２．知らなかった

▶（「１.知っていた」と答えた方）引き上げによる影響はありますか。

１．ある	２．ない	３.わからない

▶▶（「１.ある」と答えた方）どのように対応する予定ですか。

１．自力で対応する	２．国の業務改善助成金などの支援策を活用する	３.その他（　　）

貴事業所の経営上の課題（問題等）について、おたずねします。

質問 19　貴事業所が直面している経営上の課題（問題等）について、該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）

１．大企業等の進出による競争激化	13．諸経費の増加
２．新規参入業者の増加	14．事業資金の借入難
３．周辺の空き店舗増加による賑わいの低下	15．人件費の高騰
４．設備・店舗等の老朽化又は狭さ	16．従業員の確保難
５．生産・販売能力の不足	17．後継者難
６．土地の不足	18．ＩＴ投資による業務効率化
７．仕事の海外流出	19．連携先（他業種、研究機関、地域）の情報不足
８．協力企業(外注先等)の倒産、廃業	20．消費税引き上げへの対応難
９．売上(受注)価格の低減	21．ニーズ変化への対応難
10．原材料・仕入商品価格の上昇	22．在庫の過剰

11. 官公需用の低迷	23. 設備・店舗等の過剰
12. 民間需要の低迷	24. 特になし

【その他】貴社を取り巻く経営環境等について、悩み事やお困りごとがあればご記入ください。
※補助金の活用方法、融資関係等など

ご意見・ご要望

質問 20　ご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

調査票のご返送は、令和８年１月９日(金)までにお願いします。